

令和4年度 成長力強化に貢献する質の高い教育

1. 授業科目名

公衆衛生看護活動展開論Ⅲ

2. 連携している地元産業界等の組織名称

倉吉市

3. 当該授業等を実施する学部・学科

鳥取看護大学 看護学部看護学科

4. 当該授業等を開講する目的および内容

倉吉市と協定（倉吉市と学校法人藤田学院との連携に関する包括協定書）を締結し、倉吉市が抱える健康課題を主な素材として、グループワークによるPBL学習（授業科目：公衆衛生看護活動展開論Ⅲ）を行う。倉吉市のホームページ等から情報を収集し、地区視診で得たデータを整理した上で、一次アセスメントを統合して二次アセスメントを行い健康課題を抽出する。抽出した健康課題を解決するための計画立案や評価指標を検討し地域診断過程を発表しディスカッションする。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2単位	選択
担当教員			
小石真子 (mkoishi@)、檀原三七子、加藤紗也香、吹野信浩			
授業形態	時間数		科目区分
演習	30時間		専門分野【保健師教育分野】
添付ファイル			

特記事項	<p>資格選択区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 看護師資格必修 <input type="checkbox"/> 保健師資格必修 <input checked="" type="checkbox"/> 養護教諭二種免許必修 <input type="checkbox"/> 看護師資格選択必修 <input type="checkbox"/> 保健師資格選択必修 <input type="checkbox"/> 養護教諭二種免許選択必修 <p>ディプロマポリシーとの関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 広い視野と人を思いやる豊かな人間性をはぐくみ、人生の問題や課題に誠実に向き合う力 <input type="checkbox"/> 高い倫理性と堅固な使命感をもって生き抜き、人に寄り添う力 <input type="checkbox"/> 専門的な基礎知識と論理的思考にもとづいて看護実践する力 <input type="checkbox"/> チームワークを重んじ、創造的に多職種と連携・協働する力 <input checked="" type="checkbox"/> 病院から地域・在宅へと療養の場が移るなかで、地域で暮らす人びとの健康と生活を支え、地域とともに歩む力 <p>実務経験のある教員による授業科目の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 担当している <input checked="" type="checkbox"/> 担当していない <p>実務経験を授業科目にどのように活かしているか</p> <p>科目等履修生ほか受入（受入可能人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 受入可 <input checked="" type="checkbox"/> 受入否 <p>受入可能人数</p>

授業の概要	既存の資料やインターネットから地域の情報を収集して、コミュニティ・アズ・パートナーモデル等を活用して分析を行う。また、健康問題・課題の抽出を行い、目標を設定し、保健活動計画をグループワークを通して考える。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域診断の意義と展開過程がわかる。 ・地域診断に必要な情報を収集し、アセスメントできる。 ・地域の健康課題の抽出し、健康課題の優先順位の決定を考えることができる。 ・地域の健康課題に介入する保健計画を立案できる。 					
授業計画	回	授業内容	授業方法	自己学修課題(予習・復習)	取組時間	担当者
	1	学習のふりかえりと「地域診断」演習の進め方のオリエンテーション	講義・演習	これまでの保健師教育で学んだ内容を復習しておく。	1時間	小石
	2	個人で地区の人口統計からの分析1	演習	市町村のホームページを閲覧しておく。	1時間	檀原・小石・加藤・吹野
	3	個人で地区の人口統計から分析2	演習	グラフや表の表し方を考える。	1時間	檀原・小石・加藤・吹野
	4	人口統計に関するグループ検討	演習	個人で発表内容を考える。	1時間	檀原・小石・加藤・吹野
	5	個人で地区の死因統計からの分析1	演習	死因に関する国民衛生の動向を参照しておく。	1時間	檀原・小石・加藤・吹野
	6	個人で地区の死因統計からの分析2	演習	グラフや表の表し方を考える。	1時間	檀原・小石・加藤・吹野
	7	死因統計に関するグループ検討	演習	個人で発表内容を考える。	1時間	檀原・小石・加藤・吹野
	8	一次集計に関する分析の発表	演習・発表	発表後に修正を行う。	1時間	檀原・小石・加藤・吹野
	9	コミュニティ・アズ・パートナーモデルを活用しての分析	演習	コミュニティ・アズ・パートナーモデルを復習しておく。	1時間	檀原・小石・加藤・吹野
	10	地区の保健事業や介護保険事業の情報を加えた分析	演習	市町村の保健事業計画等に関わるホームページを閲覧しておく	1時間	檀原・小石・加藤・吹野

	1 1	データの2次分析	演習	これまで得た情報を整理しておく。	1時間	檀原、小石・加藤・吹野
	1 2	保健計画の作成 1	演習	事業計画の優先順位を復習しておく。	1時間	檀原、小石・加藤・吹野
	1 3	保健計画の作成 2	演習	健康課題の分析から保健計画のつながりをまとめておく。	1時間	檀原、小石・加藤・吹野
	1 4	地域診断の発表 1	演習・発表	発表内容を考えておく。	1時間	檀原、小石・加藤・吹野
	1 5	地域診断の発表 2	演習・発表	各グループの発表との比較から学びを深める。	1時間	檀原、小石・加藤・吹野
先行履修科目	単位取得科目：公衆衛生看護活動展開論Ⅰ、公衆衛生看護活動展開論Ⅱ					
テキスト	1. 公衆衛生看護学：荒賀直子、後関陽子編集、インターメディカル 2. 標準保健師講座 第1巻公衆衛生看護学概論：標美奈子他、医学書院					
参考文献	国民衛生の動向2021/2022厚生労働統計協会					
評価方法	レポート70%（コアについての1次アセスメント50%、地域診断の到達度20%）、地域診断の成果物30%					
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	演習の成果物のコメントは、提出の都度に授業で述べる。 個人レポートは、コメントを付して返却する。					
備考						